

川崎市が発行する「グリーンボンド」への投資について

システムズ・デザイン株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：隈元 裕、以下「当社」）は、このたび、川崎市が発行する「第 5 回川崎市グリーンボンド 5 年公募公債」（発行額 50 億円、発行日 2025 年 11 月 25 日、以下「本債券」）（※）への投資を決定しましたので、お知らせします。

本債券の発行による調達資金は、2050 年の二酸化炭素（CO₂）排出量実質ゼロの達成（緩和）と気候変動に起因した自然災害による被害の回避・軽減（適応）に向けて、川崎市が取り組むための下表の環境施策に充当される予定です。

分類	グリーンプロジェクト	貢献する SDGs 目標
エネルギー効率	公共施設の省エネ化	     
	環境性能の高い公共施設の新築、改修ならびに取得	
再生可能エネルギー エネルギー効率	カーボンニュートラルポート（CNP）の形成 （照明の LED 化等）	
クリーン輸送	公用車の電動化	
気候変動への適応	水害対策のための河川整備	
	海岸保全施設の整備	
	防災情報収集・伝達体制の整備	
分類	ブループロジェクト	
汚染防止及び抑制	カーボンニュートラルポート（CNP）の形成 （清掃船（電気推進船）の建造）	 
汚染防止及び抑制 気候変動への適応	下水道施設の整備	

当社は、中期経営計画の基本方針の一つに「SDGs を推進する」を掲げており、今後も、当社グループ全体として企業理念である「ステークホルダーとともに社会の持続的な成長に貢献する」の実現に向け、ESG 投資の実施も含め、積極的に取り組んでまいります。

※グリーンボンドは、地球温暖化防止対策や再生可能エネルギーといった環境的問題の解決に資する事業（グリーンプロジェクト）に必要な資金を調達するために発行する債券です。本債券は「グリーンボンド原則 2021（ICMA）」、「グリーンボンドガイドライン（2022 年版）（環境省）」、「A Practitioner's Guide for Bonds to Finance the Sustainable Blue Economy（ICMA/IFC/UNEP FI/UN Global Compact/ADB）」との適合性に対するオピニオンを株式会社日本格付研究所より取得しており、最上位評価の「Green1（F）/Blue1（F）」となっております。

以上